

祝 辞

歴史と伝統ある青森高校の第76回生となる皆さん、ご卒業おめでとうございます。同窓会を代表して皆さんの同窓会入会を心より歓迎申し上げます。また、親身にご指導下さった高橋英樹校長先生はじめ諸先生に衷心より感謝申し上げます。

青森高校は、1900年（明治33年）の創立以来、4万1千人を超える卒業生を輩出し、同窓生は世界中で活躍しています。

さて、同窓会の目的は、会員相互の親睦と母校の発展に寄与することですが、その目的を達成するために、1) 同窓会親睦会の開催 2) 会報の発行 3) 会員名簿の管理 4) その他必要な事業を行なうことになっています。その具体的な内容は、1) 同窓会親睦会の開催ですが、ホテル青森を会場とし、毎年8月に行っています。今年は、8月8日（土）午後5時から始まりますので、是非お越しになってください。今回、ご卒業の皆さんは特別に無料としています。また、青森市以外にも地区同窓会が組織され様々な活動をしています。青森県内では、弘前市、むつ市、八戸市にあります。青森県外では東京都と西日本にもありますので、皆さんのお住まいになる地域にこれらの地区同窓会があるようでしたら是非参加してみてください。きっと大歓迎されると思います。 2) 会報の発行ですが、8月の同窓会懇親会に合わせて年一回発行しています。同窓生の近況、同好会の活動状況、地区同窓会情報、在校生や母校の話題等を掲載しています。更に、同窓会ホームページもありますので、「青森高校同窓会」で検索していただければ、これまでの同窓会報が全てご覧になれますし、最近の同窓会の動き等もわかります。 3) 会員名簿の管理ですが、個人情報保護の観点から現在、会員名簿の発行はしておりません。セキュリティを厳重にし、重要な案内発送の時などに限定して利用しています。また、皆様の住所や名前が変更になった際は、同窓会事務局へご一報くださるようお願い申し上げます。 4) その他必要な事業は、在校生を対象とした講演会の開催やシンガポール等への海外研修事業の助成及び母校の周年事業への協賛等です。是非、在校生への講演会講師として、将来戻ってきてください。

ところで、皆さんは、「失われた 30 年」という言葉を聞いたことがあると思います。1990 年代初頭のバブル経済崩壊以降、日本経済が長期にわたり低迷した期間を言います。この原因は、識者により諸説ありますが、組織の硬直化もその一つです。例えば、年功序列、学歴主義、前例主義等です。このような硬直化した組織を打破し変えていくのは「若者、バカ者、よそ者」だとも言われています。

京セラや KDDI の創業者であり、破綻した日本航空を再生させたことで有名な経営の神様と言われた稲盛和夫氏も「若者、バカ者、よそ者」を活用されていました。

「若者」は、向上心が強く、前向きに行動する人です。

「バカ者」は、枠にとらわれない大胆なアイデアを出せる人です。

「よそ者」は、第三者目線を持ち客観的に分析できる人です。

皆さんは、これから進学や就職されるわけですが、どんな組織に所属しても、この「若者、バカ者、よそ者」の視線を忘れずに、考え、発言し、行動することをお勧めいたします。

また、iPhone や iPad 等時代を先取りした製品を開発したアップルの創業者の一人、スティーブ・ジョブズ氏もスタンフォード大学卒業式に招かれた際の式辞で同じようなことを言っています。それは、次の言葉です。「Stay hungry, Stay foolish.」意味は、お分かりと思いますが、「貪欲であれ、バカ者であれ」です。どうかこれらの言葉を心にとどめ、これからの人生を歩んでいってほしいものと思います。

青森高校は、皆さんが胸を張って出身校を名乗れる素晴らしい学校です。これは、先輩方が色々な分野で活躍されてきたからです。しかし、これからは皆さん方一人一人のお力によります。

結びに、皆さんの輝かしい未来と青森高校の益々の発展を祈念申し上げ私の祝辞といたします。

2026 年 2 月 27 日

青森県立青森高等学校同窓会会長 沼田 廣